

総務委員会資料

1 令和4年第5回定例会提出予定議案の説明

(9) 議案第185号

川崎市コンベンションホールの指定管理者の指定について

参考資料 議案第185号

経済労働局

令和4年11月25日

川崎市コンベンションホールの指定管理の指定について

1 管理を行わせる施設の概要

(1) 名称	川崎市コンベンションホール
(2) 所在地	川崎市中原区小杉町 2 丁目 276 番地 1
(3) 設置条例	川崎市コンベンションホール条例
(4) 設置目的	企業、研究機関、市民その他の多様な主体が交流する機会を創出することにより、これらの者の間における連携を促進し、もって地域経済の活性化その他の地域の活力向上に寄与するため。
(5) 施設の事業内容	コンベンション等のための施設及び設備を利用に供すること。施設等を利用する者に対するコンベンションの開催に係る支援を行うこと。コンベンションの誘致に関すること。ほか、施設の設置目的を達成するために必要な事業に関すること。
(6) 現在の指定管理者	株式会社コンベンションリンケージ
(7) 現在の指定管理料	0 円（平成30年度～令和 4 年度）

2 指定管理者となる団体の概要

(1) 名称	株式会社コンベンションリンケージ
(2) 所在地	東京都千代田区三番町 2 番地
(3) 代表者名	代表取締役 平位 博昭
(4) 設立年月日	平成 8 年 7 月 3 日
(5) 資本の額	50,000,000円
(6) 従業員数	552名
(7) 設立目的	<ul style="list-style-type: none"> (1) 各種イベントの企画・制作 (2) テレビ及びラジオ番組、ビデオ及び映画等の企画・制作 (3) 国際会議・国内会議・展示会・見本市の主催及び企画・運営の受託業務並びにこれらに関する情報提供、コンサルティングサービス (4) インターネットを利用した各種情報の提供 (5) 通訳及び翻訳に関する業務 (6) 一般労働者派遣事業 (7) 有料職業紹介業 (8) 広告代理店業 (9) カタログ・パンフレット・取扱い説明書の企画・制作及び印刷に関する業務 (10) 各種出版物等の企画・制作・販売 (11) 不動産の売買、賃貸借、仲介及び管理業 (12) 不動産に関するコンサルティング業務

	(13) テニスクラブ及びテニススクールの運営 (14) 旅行業法に基づく旅行業 (15) 地方自治法の規定に基づく指定管理者としての公共施設の管理運営業務 (16) ホテル・旅館及び飲食店の経営 (17) 警備業 (18) 前各号に附帯する一切の事業			
(8) 事業実績	(1) コンベンション・イベント・展示会の企画・運営 ア G20大阪サミット・シェルパ会合 イ G20名古屋外務大臣会合 ウ 第16回アジア不拡散協議 エ 脱炭素都市国際フォーラム オ GEA国際会議 (2) 翻訳 ア 沖縄本土復帰50周年記念式典 イ 東日本大震災8周年追悼式 (3) 指定管理施設の管理運営 ア 札幌コンベンションセンター イ 別府国際コンベンションセンター ビーコンプラザ ウ ふじさんめっせ（富士市産業交流展示場） エ 沖縄コンベンションセンター オ Gメッセ群馬（群馬コンベンションセンター） カ 奈良県コンベンションセンター キ アクリエひめじ（姫路市文化コンベンションセンター）			
(9) 直近3年度の財政状況（単位：千円）	年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
	総収入	15,275,080	15,517,345	21,399,934
	総支出	13,850,600	13,893,355	18,874,404
	当期損益	1,424,480	1,623,990	2,525,530
	累積損益	0	0	0

3 指定期間

令和5年4月1日から令和10年3月31日まで

4 選定結果

別紙のとおり

5 事業計画

選定基準	審査項目	主な事業内容
I 事業目的の達成とサービスの向上への取組について	ア. 職員体制、危機管理、安全・衛生管理の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・統括責任者は現館長を継続 ・統括責任者1名、副館長1名、運営ディレクター1～2名、運営スタッフ1～2名（パート）を配置 ・現場施設の館長と本社担当者の2館長制による業務執行体制 ・危機管理マニュアル、緊急連絡体制が確実に機能するよう、防災訓練を定期的実施

	イ. コンベンションホールの機能発揮についての考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・アクセスの良さ、産業集積地、医療施設の充実、商業施設の充実、居住者の増加、プロスポーツの街・等々力
	ウ. コンベンションの誘致についての考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・ホール稼働率目標：60% ・利用人数：65,000人以上 ・全国50施設によるネットワーク営業、本社を中心としたコンベンション運営部局による効果的な営業活動等 ・コンベンション運営のプロによるアドバイス、次回開催のためのアプローチ、Thanksメールの送付、催事告知による催事集客支援、スケジュール調整による予約確保
	エ. 施設の管理運営方針や手法、利用方法等の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・現状の料金設定を基本 ・空室情報のHP上での公開。現状の予約受付方法（電話もしくは窓口での受付）を継続 ・予算管理、収支管理のためのシステムを導入
	オ. コンベンションの開催に係る支援についての考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・椅子・机のファーストレイアウトは無料 ・自動販売機は防災ベンダー3台設置 うち1台はフードベンダー対応
	カ. 提案事業や自主事業の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・提案事業：インターンシッププログラム及びコンベンション講座の開講、中小企業支援販路開拓MOBIOへの特別企画展(年1回)、バックヤードツアーの開催、ランチタイムコンサートの開催 ・自主事業：川崎市コンベンションホール感謝祭、川崎市コンベンションホールプロモーションイベント(年1回)、創業支援セミナー企画(年2回)
	キ. 市内事業者への優先発注や地域・市民等との連携・協働等の考え方	<ul style="list-style-type: none"> ・割引サービス、クーポンサービスを提供していただける飲食店を呼びかけ、成果を把握 ・国際会議の主催者に、市民が参加できるサテライトシンポジウムを実施してもらえよう働きかけ
II 事業の安定性・継続性の確保への取組について	ア. モニタリングについての考え方、主体的な業務改善に向けた具体的な取組	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートは催事終了後に手渡し、出来る限りその場で回収。回収目標は年間400件程度 ・館長ポストの設置、ホームページによる「お客様の声」の把握等 ・サービス向上委員会(月1回)の設置、「ホスピタリティ強化月間」の設定、PDCAサイクルでの業務改善
	イ. 施設等の維持管理・運営に関する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・「施設内の全てのスタッフが清掃スタッフであること」として、清掃スタッフ、設備スタッフ、運営スタッフの連携により過剰人員の配置を抑制。清掃資材や消耗品等のグリーン購入の推進、廃棄物の発生抑制や適切な分別を行い、環境負荷低減に貢献
III 事業経営計画と管理経費縮減等への取組に	ア. 収支計画の妥当性	<ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度以降ホール稼働率60%、会議室稼働率85%を目標 ・光熱費は、昨年度1.5倍程度の見込み

について	イ. 事業収益の取扱い	・年間1,500万円の固定納付金。さらなる収益が出た場合には固定納付額を除く収益の50%を利用して、利益還元金の納付または、市内企業の交流促進に向けた事業や備品の更新や修繕、広告の掲出を実施
	ウ. 管理経費や維持コスト等の縮減に対する考え方	・ペーパーレス化の推進、「ごみの持ち帰り運動」の推進によるごみ排出量削減、光熱費の削減、消耗品コストの削減、技術者の適正配置、清掃員の適正配置、臨時休館によるコストの削減、喫煙室の使用停止によるコスト削減
IV 応募団体についての評価	ア. 事業や施設等の安定的な運営能力、同種事業の運営実績、専門性等	・団体の理念： CONVENTION…国際会議、展示会、イベント、コンベンション等の人、物、情報が直接交流するコミュニケーションメディアを設計、プロデュースするプロフェッショナル集団 LINKAGE…国家、民族、宗教、企業等の枠を超えてネットワーク・連携を構築しコミュニケーションビジネスを通して社会へ貢献することをコンセプト
	イ. 社会課題に対する認識、コンプライアンス・個人情報保護への認識	・目標5：男女共同参画による施設運営、目標8：高齢者、障がい者に配慮した施設運営、目標13：環境に配慮した施設運営、目標17：業務パートナーとの連携
	ウ. 障害者雇用・障害者就労等の考え方、具体的な取組	・実雇用率2.42%

6 収支計画

(1) 指定管理業務における収支予算 (単位：千円)

項目	金額 (消費税及び地方消費税を含む。)					
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	合計
①収入	94,901	112,796	132,041	132,041	132,041	603,820
利用料金収入	84,890	94,561	104,311	104,311	104,311	492,384
付帯事業収入	10,011	18,235	27,730	27,730	27,730	111,436
②支出	76,789	89,420	106,145	106,115	106,115	484,584
収支 (①-②)	18,112	23,376	25,896	25,926	25,926	119,236

(2) 自主事業における収支予算 (単位：千円)

項目	金額 (消費税及び地方消費税を含む。)					
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	合計
①収入	1,000	1,500	2,000	2,000	2,000	8,500
②支出	1,000	1,500	2,000	2,000	2,000	8,500
収支 (①-②)	0	0	0	0	0	0

川崎市コンベンションホールの指定管理予定者の選定結果について

1 応募状況

現地見学会参加：4団体

応募：2団体（株式会社横浜国際平和会議場、株式会社コンベンションリンケージ）

2 経済労働局民間活用事業者選定評価委員会委員

志村 恵美子 氏（公認会計士）

山本 知男 氏（一級建築士）

斎木 敏治 氏（慶応義塾大学理工学部電気情報工学科 教授）

松本 亮三 氏（東海大学 名誉教授）

五十嵐 誠 氏（東洋大学経済学研究科 客員教授）【欠席】

3 選定理由

- (1) 目標設定や手法など、各審査項目に関する提案内容が具体的であること
- (2) 提案書やプレゼンテーションにおいても具体的な数値や裏付けをもって実現可能性を踏まえた提案がなされていること
- (3) 経済労働局民間活用事業者選定評価委員会において、I～IVの選定基準のいずれもが他社以上の評価がなされていること

4 審査結果（※基準点 240 点以上）

選定基準	配点	株式会社コンベンションリンケージ	株式会社横浜国際平和会議場
I 事業目的の達成とサービスの向上への取組について	220.0点	152.2点	128.4点
II 事業の安定性・継続性の確保への取組について	64.0点	40.4点	40.4点
III 事業経営計画と管理経費縮減等への取組について	80.0点	58.0点	50.0点
IV 応募団体についての評価	36.0点	24.6点	22.0点
合計	400.0点	275.2点	240.8点